



図書館だより 10月号

夏の暑さも一段落し、過ごしやすくなってきました。秋はいろいろなことに挑戦するのに最適の季節ですね。「読書の秋」は中国の唐代の詩人、韓愈の詩「符読書城南詩」に由来するといわれています。その詩の中に「灯火稍く親しむべし 簡編巻舒すべし～(涼しい秋になったので、) ようやく灯火の下で読書を楽しめる～」という一節があります。これを夏目漱石が『三四郎』の中に引用したことで、秋＝読書のイメージが定着したようです。

さあ、みなさんも読書の秋を存分に楽しみましょう！



読書週間 & ハロウィンウィークイベント

10/24(月)～10/31(月)

昼休み(イベントは昼休みのみ)

この期間、図書室で本を借りると
ちょっといいことがあるかも……。
図書室では図書委員がハロウインの
扮装をしてお待ちしています！



ミニ ビブリオバトル(読書活動 HR)

10/27(木)のHR活動は、ミニビブリオバトルを行う予定です。
全員バトル(発表者)となり、お気に入りの本を紹介してもらいます。
クラスのチャンプ本(一番読みたくなった本)目指して頑張ってください。
チャンプ本は図書館で紹介、購入する予定です。



図書委員会より

中央祭でビブリオバトルを行いました。
5人のバトルが熱く語りました。
チャンプ本は302図書委員が紹介してくれた
『みんな蛍を殺したかった』(木爾チレン:著)
です。表紙もお気に入りということです。
来年はみなさんもぜひバトルとして
参加してください！



新着図書 汐見夏衛の本が入りました！

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』
『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』
『臆病な僕らは今日も震えながら』

★新書を読もう！

『甲子園と令和の怪物』(柳川悠二:著)
『映画を早送りして観る人たち』(稲田豊史:著)
『ぼくらの戦争なんだぜ』(高橋源一郎:著)
『独学の教室』(読書猿 他:著)

★愛媛ゆかりの作者・作品

『汝、星のごとく』(凧良ゆう:著) 瀬戸内の島が舞台。今治や松山も出てきます。
『八月の母』(早見和真:著) 伊予市が舞台です。
『ショートショート実験室』(田丸雅智:著) 松山市出身。
『運転者』(喜多川泰:著) 西条市出身。

★文庫も面白い！

『ツナグ 想い人の心得』(辻村深月:著)
『虹にすわる』(瀧羽麻子:著)
『暇と退屈の倫理学』(國分功一郎:著)
『やわらかく、考える。』(外山滋比古:著)

他にも多数！新着図書紹介はホワイトボード、図書館窓にも掲示しますので、見てください。